

中小企業のIT活用支援の事例

- 中小企業者がITを活用する際の気づき、導入、活用の3ステップにおいて、支援機関、ITベンダー、IT専門家がそれぞれどのような役割を担っているのか。委員のみなさまのご意見を参考に整理した。

中小企業者のIT活用ステップ

	ステップ1：「気づき」 IT活用による生産性向上の「気づき」を得る	ステップ2：「導入」 生産性向上に取り組み、ITツールの導入を計画	ステップ3：「活用」 ITツールの使い方等を試行錯誤し、ITツール導入の効果を実感
中 経 小 営 企 業 業 者	○経営者が自ら改善を検討 <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継を契機に、経営者が経営分析を行い、経営課題の改善を検討する。 ・セミナーやイベントに参加することでITに関する知識を深め、情報交換や意識啓発を行う。 	○自社に合ったITツールを選定 <ul style="list-style-type: none"> ・ITベンダーや経営支援機関等から情報収集を行い、自社の経営課題に合ったITツールを選定する。 ・生産性向上に向けてITの導入を計画し、導入体制を整える。 	○ITツールの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ITツール導入後の経営分析を行う。 ・自社内のIT専門人材の育成を図る。 ・IT活用の前後で業績を比較・分析を行い、競合店との差別化や新規顧客の開拓、利益率の増加を目指す。

IT活用ステップを促進

援 経 機 営 関 支	○相談窓口の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者が気軽にITに関する相談できるよう、相談窓口を設置したり、訪問によって事業者の経営課題の相談に乗る。 ・ITに関するセミナー等を開催する。 	○ITツールの選定や専門家の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の経営課題や相談内容に沿ったITツールの選定を行う。 ・相談内容に合ったITベンダーやIT専門家を紹介・派遣する。 	○ITに関する各種サポートの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の支給や税制優遇を行う。 ・IT活用の前後での業績比較や経営課題等の相談に乗り、継続的なサポート体制を整え提供する。
ベ ン ダ ー	○アドバイスやイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・IT活用のアドバイスやイベントの開催を行い、ITに関する意識啓発を行う。 ・ルート営業や相談窓口により、事業者に対してITツールによる生産性向上を促す。 	○企業に合ったITツールの提案及び提供 <ul style="list-style-type: none"> ・企業のニーズに合わせてITツールの導入を提案したり、活用方法について説明し、提供する。 	○アフターフォロー、伴走型支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ITツール導入後も生産性や経営力向上のための活用方法や継続的なアフターフォローを行う。
IT 専 門 家	○セミナー等による広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問や相談窓口等により事業者の経営課題に関する情報収集を行う。 ・セミナー等でIT導入のメリットや成功事例を紹介し、事業者にIT活用を促す。 	○ITツールの導入促進、相談業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ITツールに関する知識を活かして事業者の経営課題や事業計画の相談に乗り、ITツールの導入を促す。 	○IT専門家による継続的な活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・経営者に対し、ITに関する支援施策や補助金等の活用を促進する。 ・継続的な経営指導を行い、IT活用による生産性の向上についてアドバイスをする。

実例 1

株式会社 トレタ : クラウド型予約／顧客台帳サービスの開発・販売業

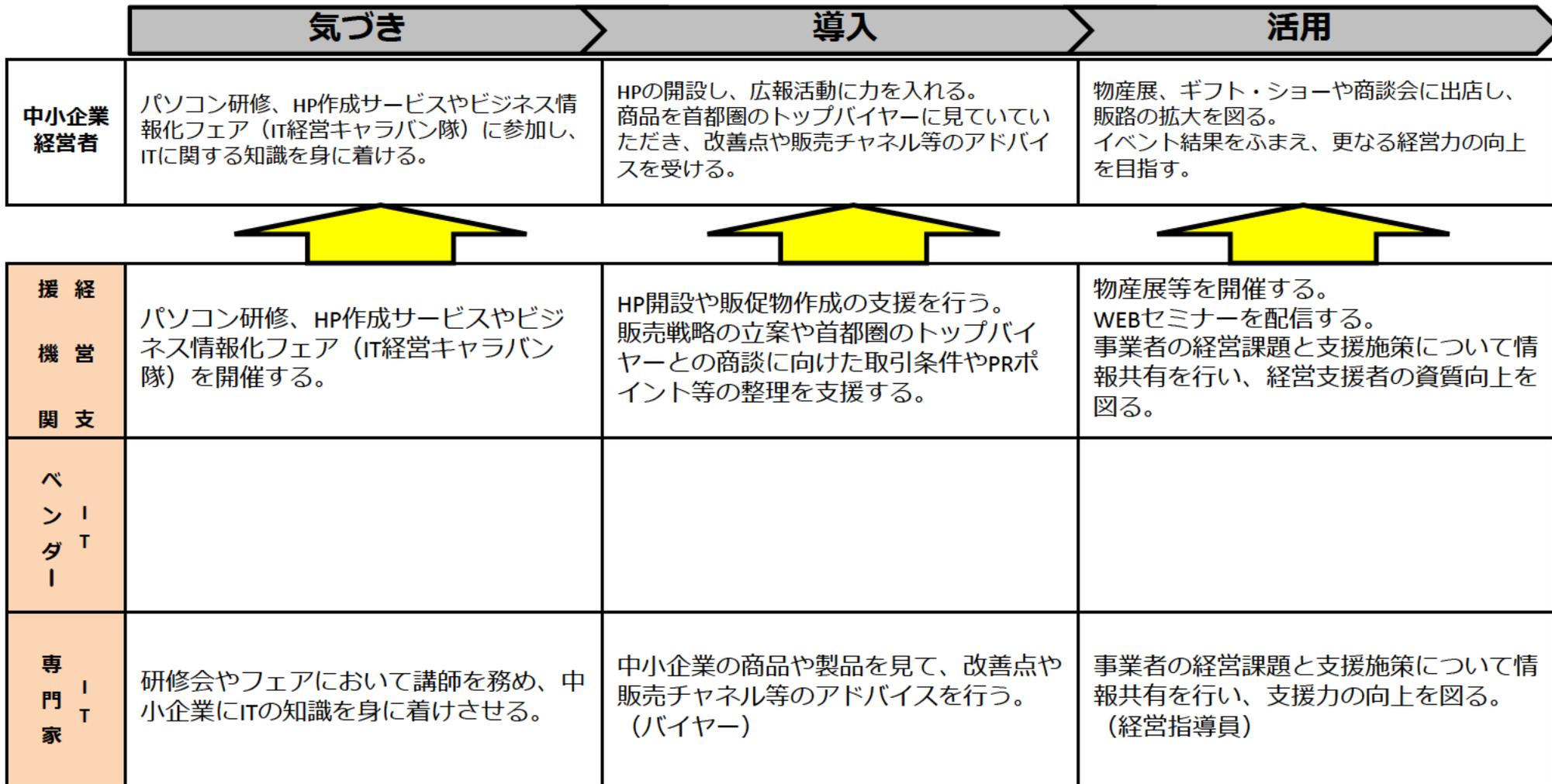
- ・飲食業界のIT化を促進することにより、飲食業界全体での生産性向上を目指すとともに、自社成長にもつながる流れを作り出した。
- ・システムを導入させるだけでなく、伴走型支援を提供し、飲食店のIT定着におけるサポート体制を整えた。

	気づき	導入	活用
中小企業 経営者	FOODIT（完全招待制）に参加し、同業者間で経営革新に関する情報交換や意識啓発を行う。	「トレタ」を導入し、紙媒体で管理していた資料をITに移行する。	コスト削減、業務の効率化や売上げアップにつなげる。 更なる経営力の向上を目指す。
援 経 機 営 関 支			
ベ ン ダ ー	FOODIT（完全招待制）を開催する。 対象を若手かつ経営向上に意欲的な経営者のみとすることでブランド化を図る。	「トレタ」を導入し、現場理解に基づいたプロダクト開発とコンサル営業を行う。	トレタ導入後も伴走型支援を提供し、飲食店の収益性の改善と経営力向上をサポートする。
専 門 家			

実例 2

高崎商工会議所

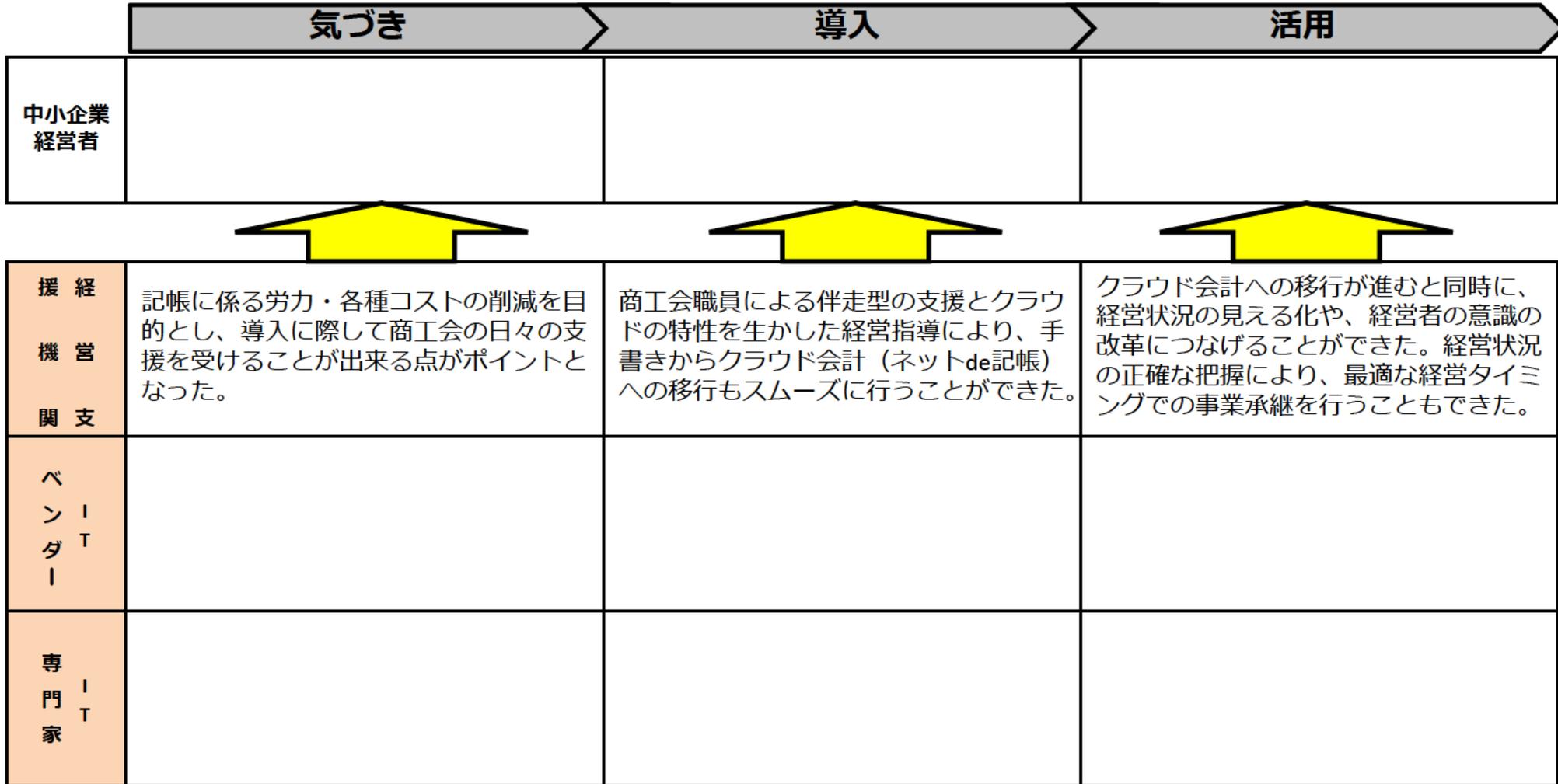
- ・IT活用支援を進めるための下地をもとに、会員との関係性を構築する販路拡大支援を行った。
- ・経営発達支援計画の策定とともに、機構改革にも取り組み、事業者に対して伴走型支援や補助金申請支援を行った。



追加でいただいた実例 1

福島県：自動車整備業

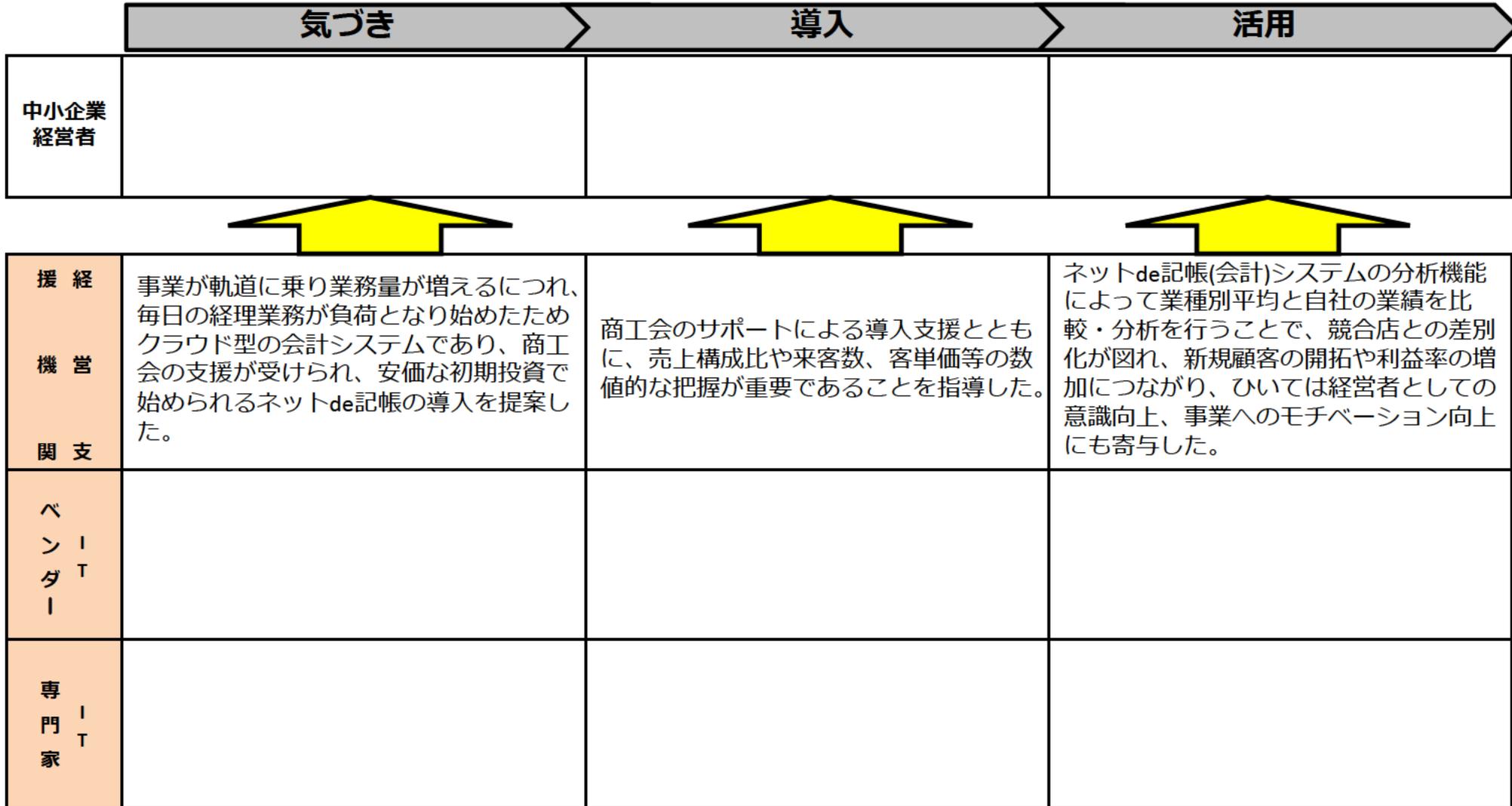
・IT導入により、経営状況の見える化が図られ、事業承継の円滑な実施が可能となった。



追加でいただいた実例 2

(福島県：飲食料品小売業)

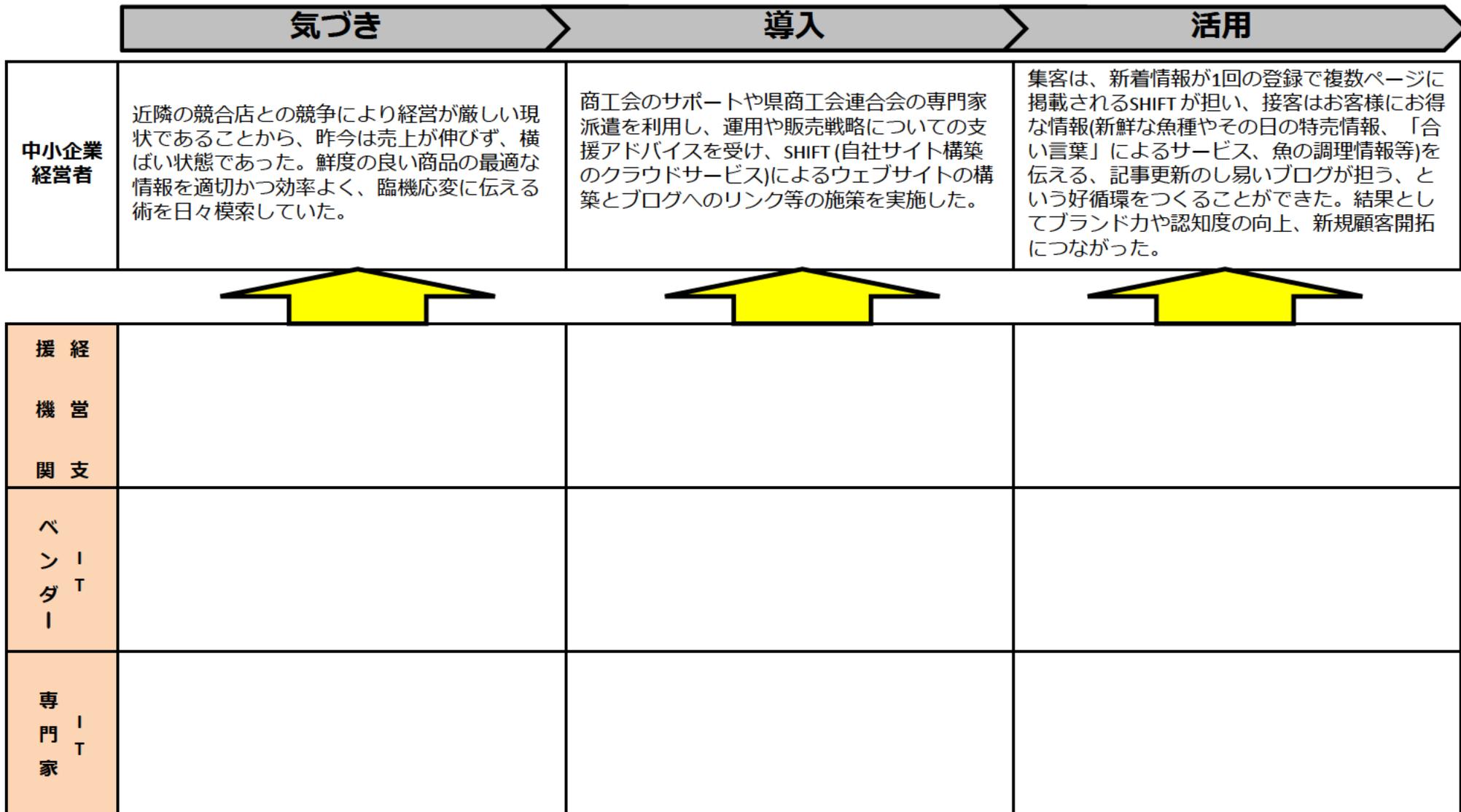
・IT導入により、経理業務の負荷軽減と経営状況の見える化が図られ、経営計画の策定による経営改革につながった。



追加でいただいた実例 3

(神奈川県：鮮魚小売業)

・IT導入により、ブランド力や認知度の向上、新規顧客開拓につながった。



追加でいただいた実例 4

(島根県：受託業務請負業(温泉施設))

・T導入により、情報発信力や認知度の向上、新規顧客開拓につながった。

	気づき	導入	活用
中小企業 経営者			事業者側は施設長と事務担当者が対応して行った。
援 経 機 営 関 支	顧客からは道順や利用時間、休館日等の情報が欲しいなどの要望や施設案内が不十分との声があった。また、指定管理の条件としてホームページの作成が必要であったため商工会のSHIFTを使ったシステムの活用を提案した。	事業者は、当初ホームページ作成を外部委託する予定であったが、作成費用やランニングコストの面で作成を躊躇していた。そうした状況下、商工会の巡回指導の中で相談があり、商工会のSHIFT活用で課題解決に繋がる旨の提案を行い、システム導入を決定するに至った。	これまでの情報発信は、町のホームページや町の観光協会ホームページの中での紹介が主であり、紹介項目には制限があった。しかしSHIFT導入により、施設の特徴(館内紹介、食の紹介、各種イベント等の紹介)を存分に紹介することが可能となった。町外・県外客に向けた情報発信を行う環境が整った効果は大きく、今後の誘客増に繋がるものと期待される。
ベ ン ダ ー			
専 門 家		システムの導入は、商工会経営指導員が担当した。	

追加でいただいた実例 5

(島根県：喫茶店)

・IT導入により、情報発信力や認知度の向上、新規顧客開拓につながった。

	気づき	導入	活用
中小企業 経営者	売上がリアルタイムで把握できるため、対策が取りやすい。立地の関係で季節要因も大きく、データが蓄積される2年目、3年目は更なる効果が期待される。		
援 経			
機 営		空きテナントへ夫婦で応募する段階から飲食店の創業に向け総合的に支援を行ない、IT導入にあたっては、必要な器具の選定から申請、メーカーとの調整を行い、運用開始までをサポートした。 ネットde 記帳との連携に係る作業、売上とレジ通過数のデータチェックによる課題抽出などの支援を行った。	ネットde POSレジ（クラウド型POSレジシステム）は売上やレジ通過数がリアルタイムで把握できることや、曜日別に集計して売上・来店動向が把握できることなどで改善への対策が取りやすく、また、特に作業することなく自宅に帰ってからもチェックできるなど、大変便利なツールである。このシステムによって手間の削減やデータの有効活用による業績向上などへと繋がることが期待され、営業における活用の幅に広がりを持たせることができるものと思われる。
関 支			
ベ ン ダ ー			
専 門 家			